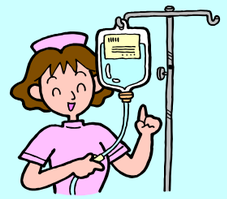
# 乳腺　化学療法（カドサイラ）を受ける患者さんへ



【患者さん用クリニカルパス】

ID　　患者氏名　　様

| | 化学療法当日<br>月　日<br>化学療法前 | 化学療法中 | 退　院 |
|---|---|---|---|
| 目　標 | 治療の経過や副作用についてわかる。 | 予定どおりに治療が終了する。<br>症状出現時は適切な対処が受けられる。 | 退院指導の内容がわかる。 |
| 説明・指導 | 予測される副作用および予防法、<br>出現時の対処方法について説明があります。 | 点滴中、針の入っているところが痛くなったり、<br>腫れたり、重苦しくなったらすぐに教えてください。<br>ふらつきやめまいがある時は、必ず看護師を呼んでください。<br>副作用症状がひどい時は、遠慮せずに話してください。 | 医師の診察後に退院となります。<br>次回から外来化学療法を行う場合は、<br>外来化学療法室のご案内・説明を行います。 |
| 治療<br>処置<br>点滴 | 点滴の針を入れ準備します。<br>点滴の準備ができ次第、点滴をはじめます。<br><br> | 抗がん剤の主な副作用<br>発症時期による症状と対処方法について<br><br>【点滴開始から１時間】<br>・投与時過敏症状：投与開始24時間以内、または初回投与時に悪寒・発熱／悪心・皮膚の赤み・息苦しさなど、様々な症状が出た場合、すぐに教えてください。<br>・吐き気、嘔吐、食欲不振などの消化器症状：吐き気止めのお薬を使用します。<br>・手指のしびれや手足のピリピリとしたしびれ、感覚が鈍くなるなどの症状が起こることがあります。<br>・白血球減少や好中球減少に対して、G-CSF製剤（白血球を増やす薬）を注射することがあります。<br><br>【数週間から数か月】<br>・貧　血：めまい、立ちくらみなどの症状があります。立ち上がる際には、転倒に注意しましょう。<br>・出　血：鼻や歯肉から出血がみられたり、痰に血が混じることがあります。<br><br>【その他の副作用】<br>・動機や息切れ　・下肢の浮腫　・下痢　・疲れやすい<br> | |
| 内　服 | 現在飲んでいる内服薬の確認をします。<br>内服薬は基本的に継続内服となります。<br> | | 必要に応じて、吐き気止めや便秘薬の処方を行います。<br>その他、希望がある際は、お申し出下さい。 |
| 検　査 | 次の検査をすることがあります。<br>血液検査、胸のレントゲン、心電図検査<br> | トラスツズマブエムタンシン(カドサイラ)の投与中及び終了後1時間、心電図モニターを装着します。　開始前と終了時に血圧を測ります。 | 外来で採血をして、骨髄抑制（白血球減少、貧血、血小板減少）の有無を確認します。<br>白血球減少が認められた場合は、次回の化学療法を延期し、G-CSF製剤（白血球を増加させる薬）を注射します。<br>うがい、手洗いをし、マスクをつけ感染予防をしてください。 |
| 食　事 | <br>化学療法によって、食事の制限はありません。通常どおりに摂取してください。 | | |
| 生活・行動 | 特に行動制限はありません。抗癌剤の副作用により転倒・転落の危険性が高くなるため注意しましょう。 | | |
| 清　潔 | 点滴当日からでも、入浴、またはシャワー浴ができます。 | | |
| その他 | 抗癌剤点滴開始初期（特に１０分以内)に発疹や顔が赤くなってほてるなどのアレルギー症状が現れることがあります。<br>ほとんどは一時的なものでおさまりますが、症状が出現した場合は申し出て下さい。 | | 38.5℃以上の発熱があった場合には、受診するようにしましょう。<br>アピアランスケアについての相談窓口があります。<br>その他にも気になることがございましたら、お電話ください。 |

注）予定等は現時点で考えられるものであり、今後検査等を進めていくにしたがって変わることがあります。

岩手医科大学附属病院
外　科